

平成 29 年度岩手県防災会議 会議録

1 日 時 平成 30 年 3 月 28 日（水）14 時から 15 時まで

2 場 所 サンセール盛岡 1 階大ホール

3 参集者 別添出席者名簿のとおり

4 次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 協 議

岩手県地域防災計画の修正について

(2) 報 告

ア 市町村地域防災計画の修正に関する意見の専決処分について

イ 平成 29 年中の災害対応状況について

ウ 岩手県国土強靱化地域計画の見直し及び実施状況について

エ 岩手県の次期総合計画の策定について

(3) その他

4 閉 会

5 議事概要

(1) 岩手県地域防災計画の修正について

- ・ 資料 1-1～1-5 により事務局から説明。
- ・ 村山委員から質問があった。

(村山委員) ドローンの利用は画期的だが、その他の情報収集として、被災者等がスマートフォン等で発信している情報の収集について取り組んでいるか。

(和田防災危機管理担当課長) 県の本部設置についてツイッターで情報を発信している。また、ツイッター情報から防災上有用なものを検索する D-SUMM というシステムを取り入れ、情報収集のツールとして訓練などにも活用している。いずれにしても災害時に寄せられる情報を的確に集めて、災害応急対策を迅速に進めていくことが重要であり、このような取組を進めている。

- ・ 原案のとおり承認された。

(2) 市町村地域防災計画の修正に関する意見の専決処分について

- ・ 資料 2 により事務局から説明。
- ・ 質疑等なし。

(3) 平成 29 年中の災害対応状況について

- ・ 資料 3 により事務局から説明。

- ・ 質疑等なし。

(4) 岩手県国土強靱化地域計画の見直し及び実施状況について

- ・ 資料 4-1 から 4-4 により事務局から説明。
- ・ 山崎委員から意見があった。

(山崎委員) 様々な災害の中で特に東日本大震災のような、甚大な被害をもたらした災害の場合には、復旧復興に長期の時間がかかるということで様々なプロセスが見えてくる。そういうことから災害について、新しく学ぶところがあるように思う。

災害はだれにも同じようにくるものではなく、社会的な弱いところをついてくるということで、脆弱性の評価をしているのは、なるほどと思う。付け加えると、その弱いところというのは被災したその段階での弱者とそれから5年後、10年後のそれぞれのプロセスでの弱者は必ずしも一致しているわけではないということもあると思う。県として長いスパンでそれぞれのプロセスで弱いところをより強靱化できるような手立てをしてもらえればと思う。

- ・ 堀委員から意見があった。

(堀委員) 目標を立て、それにむけてKPIを明確にすることで、県民としてもこの計画を全部見るよりも、わかりやすい。この計画とKPIの関係を見たが、保健福祉の分野で本編47ページに男女のニーズの違いということが明記されている。こういったことについて県から市町村へ働きかけを行ってほしいと思っていたところ。しかし、KPIをみると、動物救護の記載なので、男女のニーズの違いということについても、見えるようにすると、わかりやすくなる。KPIを明記することで、意識の向上や取組が促進されるということがあると思う。

(小野政策監) 来年度、一部見直しを行う予定があり、意見も踏まえ、関係部局とも協議し、見直しをかけることができるよう進めていきたい。

(5) 岩手県の次期総合計画の策定について

- ・ 資料 5-1 から 5-6 により事務局から説明。
- ・ 村山委員から意見があった。

(村山委員) ボトムアップで素晴らしい12指標だと思う。国連ではSDGsの17の目標がある。取組をマッピングし、あの大震災があった岩手県では、このような取組を行っている、世界に発信するのにとてもいい指標であると思う。そういうことも考えて、アウトプットするとよいと思う。

(達増知事) SDGsも何らかの形で盛り込みたい。

(6) その他

- ・ 質疑等なし。

以上